

まもろう平和!習志野市民のつどい'14

なぜ「憲法9条にノーベル平和賞」なのか



～キリスト教の立場から～

講演

光延一郎 (上智大学教授・神学部長)

座間市の若い主婦の呼びかけで始まった「憲法9条にノーベル平和賞を!」の運動は、マスコミでも取り上げられ、大きな注目をあびています。ノーベル委員会は、憲法9条を候補としてノミネートしました。



うた

立川かずさ (メゾ・ソプラノ)

死んだ男の残したものは、アメイジング・グレイス、
島唄、童神、月の沙漠、宵待草、落葉松 ほか

2014 **9**月 **6**日(土)

午後**1**時**30**分開会 (午後1時開場)

参加費**800**円 / 学生・青年**400**円
当日1000円 当日500円

習志野市民会館ホール

京成大久保駅下車1分

メール y-tsune@pj9.so-net.ne.jp



ピアノ

山内亮子

主催●まもろう平和!習志野市民のつどい実行委員会 後援●習志野市、習志野市教育委員会

連絡先▶ 小嶋 474-2067、鈴木 479-3553、常岡 453-4445、^{ナミキ} 竝木 478-8274、山川 476-6032